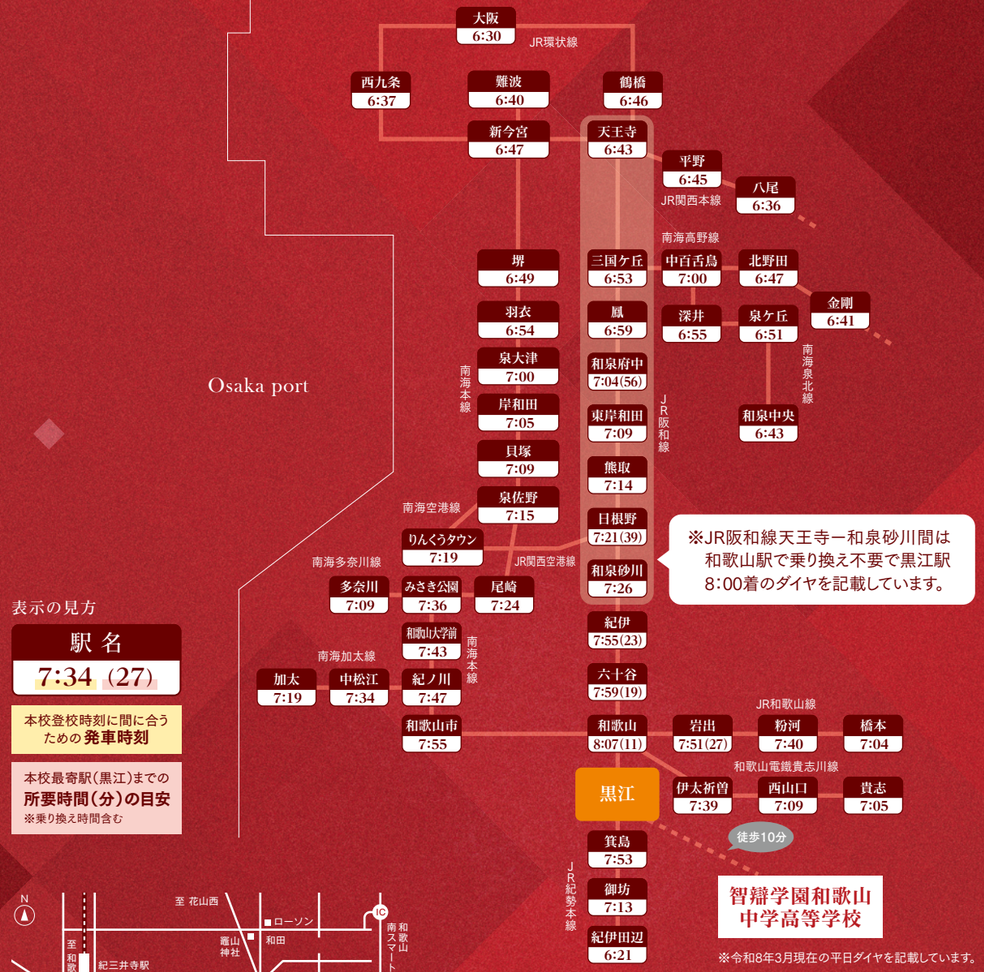
ACCESS MAP



※JR阪和線天王寺ー和泉砂川間は和歌山駅で乗り換え不要で黒江駅8:00着のダイヤを記載しています。

智辯学園和歌山
中学高等学校

※令和8年3月現在の平日ダイヤを記載しています。

表示の見方

駅 名
7:34 (27)

本校登校時刻に間に合うための**発車時刻**

本校最寄駅(黒江)までの**所要時間(分)の目安**
※乗り換え時間含む



※和歌山方面、田辺・御坊方面からは「和歌山南スマートIC」でおりてください。
※「和歌山南スマートIC」はETC車専用になるのでご注意ください。

智辯学園和歌山中学高等学校

〒640-0392 和歌山県和歌山市冬野2066-1
Tel.073-479-2811 Fax.073-479-1190
https://www.chiben.ac.jp/wakayama

併設校 智辯学園和歌山小学校

Chiben Gakuen Wakayama
junior & senior high school 2027

学校HP　facebook　LINE　Instagram　YouTube

2028 50th

2026.6 発行

スクール・ミッション

学びの追求
心の教育

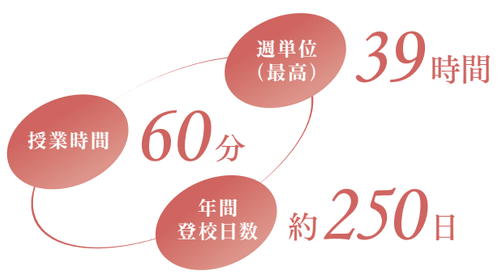
「学び」を追求し「学ぶ喜び、楽しさ」を生徒、教職員が共創する
宗教に基づいた「心の教育」を実践し、豊かな人間性を育む

教育目標

誠実明朗 ～誠実明朗で知性溢れるリーダーに～



学びの追求



知力を磨くためには、知識を修得するだけでなく、それらを発展的に活用する体系的な思考力を身につけることが必要です。
本学園では1校時を60分とし、週単位時間数や年間登校日数も可能な限り確保しています。特に英語、数学、国語の基礎学力の修得に力を入れています。また、週単位時間数を確保することにより、多様なカリキュラム編成を可能にしています。
さらに十分な時間をかけて授業をおこなうことで高度な内容にまで理解を深め、思考力・創造力を養います。これにより、生徒が望む最高の大学進学の実現をめざします。

心の教育

「宗教」の時間では、宗教的情操を養い、「人と心」の問題を研鑽する。

毎月1回「感謝祭」をおこない、四恩（父母の恩、衆生の恩、三宝の恩、天地の恩）に感謝を捧げ、今後の努力と精進を誓う。

毎朝始業前に読経し、心を静め、決意新たに1日の学校生活を開始する。

あらゆる機会、あらゆる生活の場で、「豊かな人間性」を育み、感謝と奉仕のできる人間をめざす。

教育の目的は人格の完成をめざすことであるため、「心」の教育は大変重要です。本学園では宗教的情操教育を基盤として“豊かな人間性を育む教育”を実践し、美しいもの、すぐれたものに接して感動する心豊かな人間の育成を図っています。そのため、「宗教」の履修を義務づけています。そのほか、毎日の読経や月一回の「感謝祭」など、あらゆる機会をとらえ、自分自身を見つめ直します。

コ/ー/ス/紹/介

個性を活かし、多様性を包摂するコース制

※令和9年度中学入学者より実施　※令和8年6月現在予定 名称は仮称となります

ALコース
（アドバンストラーニング）

日本・世界を先導するリーダーへ



知的好奇心を、推進力に。

Adventure 未知に挑む。
Ambition 世界を見据える。
Advance 学びを先導する。

3つのAを基に、飽くなき知的好奇心を磨くコースです。学びの開拓者として道を切り開き、日本そして世界で活躍する人材を目指します。基礎学習期間で身につけた学力と物事の原理や本質を土台に、進度・深度をハイレベルに高めた独自の授業を展開します。また、文理融合の学び、答えのない問いに向き合う課題解決型の講義や探究的な学びに取り組むことで、深く考え抜く力を育み、学びの本質に迫ります。さらに東京大学・京都大学・難関医学部への進学を念頭に、万全の進路指導体制で一人ひとりの合格を全力で支えます。高い志を持つ仲間との化学反応が互いの可能性を引き出し、ここから世界を舞台に活躍するリーダーが巣立ちます。

〈具体的な取り組み〉

- 学年縦断型授業（クロスグレード）
- 探究発表 in English
- 論文（アカデミックレポート）の執筆
- フロンティア講義（大学教授・研究者・起業家による講演会・座談会）
- アカデミックプログラム（東大・京大・国内研究施設のラボ見学）
- オリンピックプログラム（数学・科学・情報オリンピック等への挑戦）
- 海外研修プログラム（在学中1回以上の海外研修への参加）

GL特進コース
（グローバルラーニング）

グローバルな視野を持つ地域社会を創成するリーダーへ



世界を見る。自分が変わる。

Grounded 土台となる基礎学力をつける。
Global グローバルな視野を持つ。
Gateway 未来の入り口へ立つ。

学習指導要領に準拠した着実な学び（高校過程）を土台に、「英語力×探究×協働」を通じて、これからの社会に必要な主体性・創造性・課題解決力を育成します。確かな基礎学力の定着を図るため、中学3年次には英語・数学などにおいてrelearn（学び直し）を実施します。英語教育では大学での学びにつながるアカデミック英語に加え、英語によるプレゼンテーション・ディベートを行い、CEFR B1レベル取得を目標に英語資格試験へ挑戦し、世界で通用するコミュニケーション能力の向上を目指します。また、日本や世界の課題に目を向け、海外の生徒とのオンライン交流や協働探究学習を通して多角的に考える力を育成し、さらに留学や海外研修を経験して自ら挑戦する姿勢を育みます。総合型選抜・学校推薦型選抜・他各種入試を見据えてポートフォリオ作成を進め、国公立大学・難関私立大学への進学など、多様な進路実現を目指します。

〈具体的な取り組み（選択肢を持った多彩なオプション）〉

- 海外生徒とのオンライン協働探究
- 英語スキルアップ講座（テンプル大学ジャパンキャンパス京都校）
- 国内海外研修プログラムへの参加
- 在学中1回以上の海外研修への参加／海外修学旅行
- 校舎リノベーション後のネイティブ教員常駐のグローバルルームの活用

本科コース

誠実明朗で知性溢れ各分野で活躍するリーダーへ



共に走る。共に勝ち取る。

受験に強い！ 共に第一志望合格へ！

開校以来、積み重ねてきた高い大学進学実績と長年の教育ノウハウを礎に設置する本校を代表する進学コースです。確かな受験指導力を強みとし、志望校合格に向けて効率よく効果的なカリキュラムを展開します。また、将来の目標や理想に向けて、生徒一人ひとりが自分らしい学びや高校生活のスタイルを選択できる環境づくりを大切にしています。日々の授業や課題、小テストへの真摯な取り組みを重視し、「地道な努力を継続できる力」を育成します。努力を積み重ねる生徒が前向きに挑戦し続けられるよう、落ち着いた学習環境と互いに高め合う雰囲気が整っています。進学目標としては、国公立大学医学部医学科をはじめ、難関国公立大学・私立大学への現役合格を目指します。さらに、最難関大学への進学を志望する生徒には、希望制でALコースと連携したハイレベル講座を受講できる体制を設け、より高度な学びにも対応します。

〈具体的な取り組み〉

- 放課後ハイレベル講座
- 放課後ステップアップ講座
- 夏期、冬期の集中補習
- 英語チャレンジ合宿
- 紀三井寺スタディ合宿 with BBQ
- 東京大学 ／ 京都大学見学
- 大阪大学 ／ 神戸大学 ／ 大阪公立大学 ／ 和歌山県立医科大学キャンパスツアー with OBOG
- 大学入試面接対策 ／ 医学部面接対策（進路指導部主催・OBOG共催）
- 和歌山県立医科大学出張授業

※AL、GL特進コースの一部プログラムは希望制で参加可能

スポーツコース

頂点を目指す情熱が、未来を拓くチカラに変わる



全国制覇への挑戦で「人間力」を磨き、社会で活躍する次世代のリーダーへ。

本コースは、野球・陸上の部活動で全国大会出場や優勝を目指す、高い志を持った生徒が集まる場所です。日々の厳しい練習や試合という真剣勝負の舞台は、競技スキルを磨くだけでなく、人間力を育む絶好の機会となります。カリキュラムでは、遠征や大会と両立しながら高校3年間で必要な基礎学力をしっかりと身につけることはもちろん、部活動や授業内外の多彩な活動を重視しています。仲間と深く関わる中で「コミュニケーション能力」を養い、直面した壁を乗り越える中で「課題解決能力」などの非認知能力を実践的に伸ばします。さらに、多くの人々に支えられて競技や学びに取り組めることを理解し、感謝の心を育むことも大切な教育目標の一つです。ここで培う力は、単なるスポーツの強さにとどまりません。大学へ進学した後に自らの専門的な学びをさらに深められる確かな素地となり、将来、変化の激しい社会に出たときにも第一線で活躍するための大きな武器となります。文武の枠を超えて自らを高め、これからの未来を牽引する自律した人材の育成をめざします。

〈具体的な取り組み〉

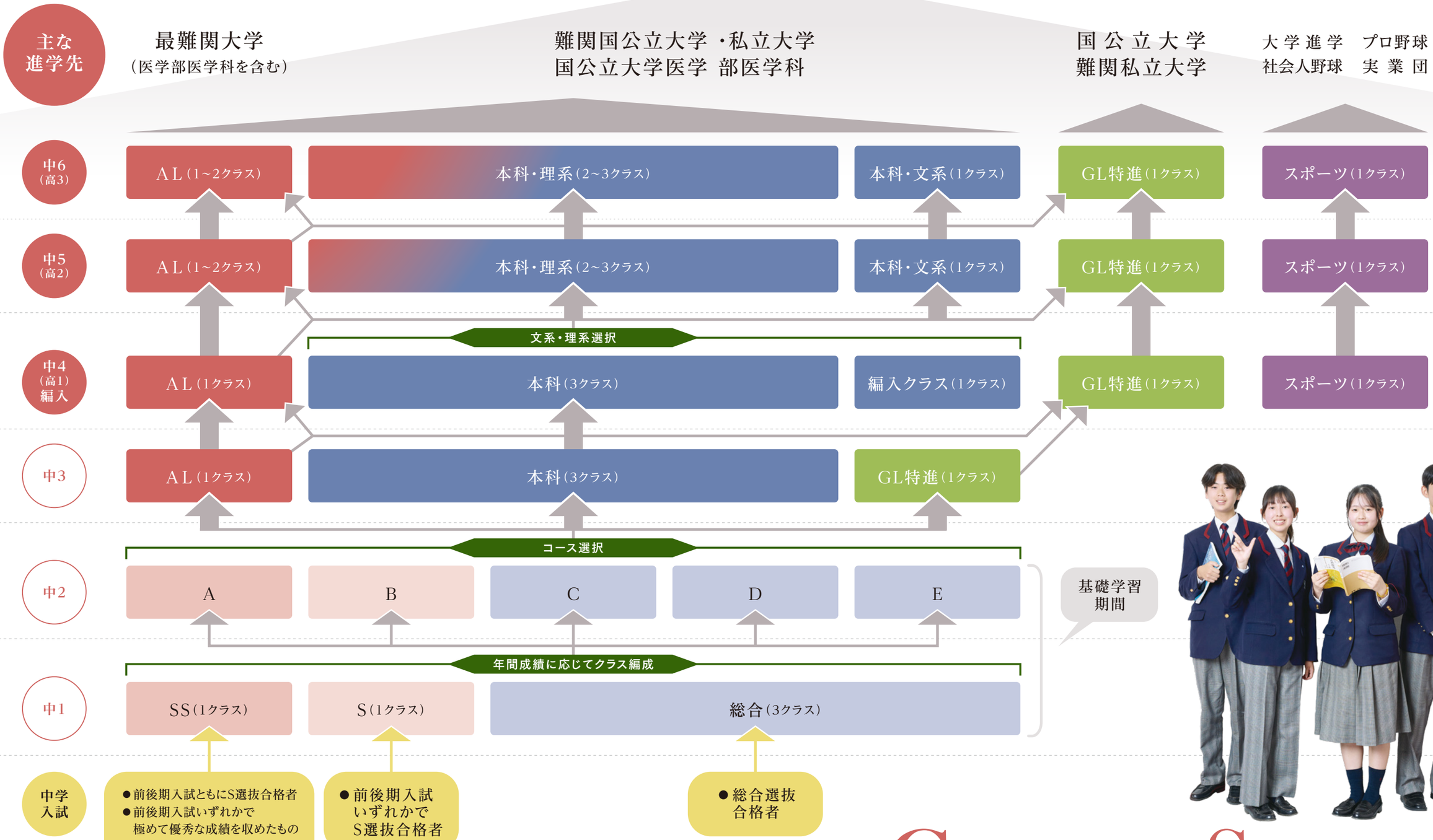
- ボランティア活動（過去の活動実績：和歌山城清掃活動・世界遺産次世代育成事業・地元海南市みかん農家での収集、運搬作業など）
- キャリアトレーニング

6年一貫コース編制

基礎学習期間を経て、中3から個々の進路へ

※令和9年度中学入学者より実施　※令和8年6月現在予定 名称は仮称となります

各分野で活躍 するリーダーへ



Course System

学/び/の/ポ/イ/ン/ト

個々の特性に合わせた多様な学習スタイルの形成

01 「本気」の授業

中学校や高等学校での学びは、授業が基本です。本校では、1校時を60分としており、「50分の授業」と「10分間の演習」に分けるように工夫しています。こうすることで、授業内で知識の獲得と解き方、考え方の習得を両立させることができます。こうした授業の効果を最大限発揮させるために、家庭学習も含めた「予習→授業→復習」という学習サイクルを確立できることを大切にしています。



02 小テストを大切に

日々の授業が最も大切であることは言うまでもありませんが、授業内容を確実に習得できているかを確認する機会を設けることも重要です。そこで、本校では国語、数学、英語の三教科を軸に、日々の小テストを実施して、授業内容の確認と振り返りを行えるようにしています。日々の小テストへの取り組みが、定期考査や模擬試験に対応できる実力を養成する端緒となると考えます。また小テストの結果を受けて、放課後ステップアップ講座の受講などにつなげていきます。



03 充実した放課後学習

放課後には生徒が必要に応じて様々な学習を行っています。例えば、中学段階から大学入試問題にチャレンジする「放課後ハイレベル講座」。教科書内容を再び学び、基礎学力の定着を図る「放課後ステップアップ講座」。また、授業中に行う小テストの結果を受けて、再テストを受ける場合もあります。いずれの場合も、生徒と教員が一体となり、知識の確実な定着や思考力・応用力の伸長に努めています。



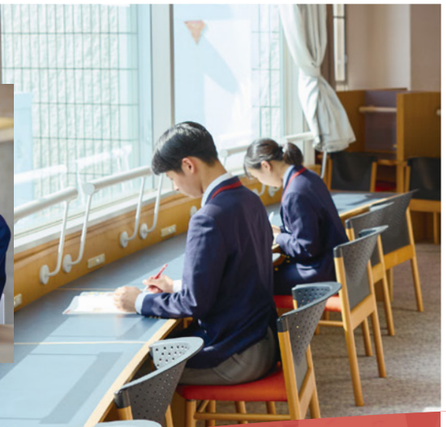
04 選べる3つの学習環境

一つ目は授業内容の不明点を教員へ気軽に質問できる環境。職員室横に対応スペースを設け、質問に訪れた生徒が内容を深く理解できるまで、教員が何度でも教授します。

二つ目は生徒が個人で学習に没頭できる環境。図書館には個別ブース約150席を備え、静粛に保たれた室内で自習課題に取り組むことができます。また高校3年生には専用座席を設けています。

三つ目は友人同士で教え合い、学び合いができる環境。放課後もHR教室、コモンズを開放し、模擬授業さながらの学びが展開されることもあります。





05 教員との伴走

生徒がよく口にするのが、「職員室に入りやすい」ということです。本校では生徒が気軽に職員室へ入ることのできる雰囲気作りに力を入れており、授業内容について不明な点や発展的に知りたい内容などがある場合には、いつでも職員室へ来るよう伝えています。

また、担任教員は学期に1回ほどの頻度でクラスの生徒と個別面談を行います。その中で、生徒の現状について話を聞きながら、効果的な学習方法や苦手科目への取り組み方、学習習慣の作り方などのアドバイスを行います。教員と生徒が日常的にコミュニケーションを取ることも、生徒から相談や質問を受けやすい体制作りに一役買っていると考えています。



Voice



中学2年生

沖　明日翔

本校では、高い志を持つ仲間と共に学び、切磋琢磨できる環境が整っています。教室内にも主体的に一人一人が取り組む姿勢があり、高い目標に向かって勉強に励む仲間の姿は、僕にとって大きな刺激になっています。また、先生方の熱心で丁寧な指導に加え、集中して学習に取り組める自習室などの設備も充実していることも大きな魅力です。自分の目標に向かって勉強に打ち込めるこの学校で、将来の夢の実現に向け、一日一日を大切にして、努力を積み重ねていきたいと考えています。

中学4年生

木原　清羽

本校の魅力は、勉強だけでなく、学校全体で本気になれる環境があることです。特に野球応援は圧巻で、チアリーダーや応援団、ブラスバンドの迫力に毎回心を動かされています。私もチアリーダーとして活躍したいという思いが、勉強を頑張る原動力になっています。また、この学校には志の高い仲間が多く、お互いに刺激を受けながら高め合える環境があります。実際に昨年は、同じ目標を持つ仲間とともに勉強に励み、努力を続けることができました。先生方も進路について、いつでも親身に相談に乗ってくださるので、安心して目標に向かうことができます。



中学5年生
編入クラス出身

高橋　桐

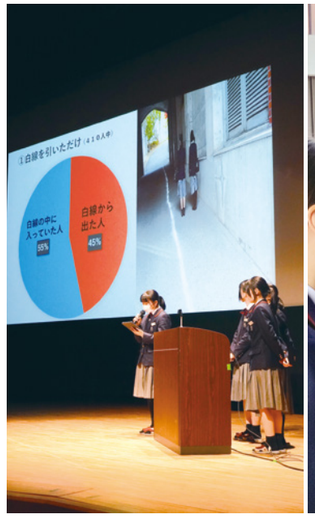
編入での一年間は速いスピードの授業と約二年分の内容に追われ、すごく大変でした。でも、クラスのみんなと切磋琢磨しながらお互いの勉強を教え合ったり、一致団結して学校行事に全力で取り組んだりして本当に心から楽しかったです。編入での時間とここで出会った仲間は私にとって人生の宝物です。大変ではあったけれど、自分に自信がつき、努力の大切さを改めて感じました。また、智辯には温かい先生方の支えがあります。勉強面はもちろん、悩みにも真摯に向き合ってくれました。智辯できっと自分の夢に向かって飛躍することができると信じています。



智辯の探究

自分を知り、自ら考え、自ら語れる

Inqu iry-Based Learning









「自分を知り、自ら考え、自ら語れる」生徒へ。

本校では探究を1教科としてのみ捉えるのではなく、学びの本質を追求するために重要な時間であると考えます。
探究は、日常のふとした「好き」「気になる」から始まります。自分の問いを見つけ、考えを深め、仲間と語り合い、社会とつながることで、新たな価値を生み出す、そんな学びを通して、一人ひとりの可能性を広げていきます。知りたいという気持ちを原動力に、自分の言葉で考え、伝える力を育てることで、未来の社会を切り拓く力を身につけていきます。

高1・高2　探究活動発表大会　最終プレゼン発表進出グループの研究テーマ一覧

- ◆みずから見る和歌山市 ～水質から過去を探る～
- ◆音楽が暗記に与える影響
- ◆形状による耐震性の違いを検証し、最も耐震性が高い形状を見つける
- ◆競争相手と光と容器の形状がもたらすメダカの位置への影響
- ◆カイロを少しでも長く使うにはどうしたらよいか
- ◆個人の学力を最大化するためのICT
- ◆人間の記憶力について
- ◆うまみを可視化する
- ◆商店街空洞化問題と解決案
- ◆新しい犬用義足の設計
- ◆透明な紙の実現
- ◆チャットアプリの脆弱性について
- ◆マツのアレロパシー物質について


令和６年度
中４・５学年共催探究活動
研究要綱集録
令和７年３月
智辯学園和歌山高等学校

探究5ヶ年計画（令和8年度）

中1 探究準備
- ・興味関心の発見
- ・自己認知
- ・探究の基礎学力

中2 興味関心の深化
- ・テーマ設定
- ・情報収集と整理
- ・仮説の立案

中3 社会との接続
- ・学びフィールドの解放
- ・フィールドワーク
- ・社会課題の理解

中4 分析手法の獲得
- ・関西学院大学国際学部 關谷武司教授の 国際情報分析（知の探究）

中5 探究実践
- ・実践と検証
- ・発表資料の作成
- ・成果発表会

審査員特別賞

第12回「創造力、無限大∞ 高校生ビジネスプラン・グランプリ」

らくSASコルセット 睡眠時無呼吸症候群で苦しむ人をゼロに

チーム名「カロリーメイトブルーベリー味」
高校１年生（受賞当時）
青木 梨衣奈 / 青木 大和

睡眠時無呼吸症候群（SAS）の患者向けに、いびき軽減効果があるコルセットを製造・販売し、睡眠不足解消を図るビジネスプラン。SAS改善のために取り入れられている体位療法（患者の体位を変化させることで舌根が気道を塞ぐのを防ぐ）をサポートする「らくSASコルセット販売」を計画しました。販売価格は2,500～5,000円程度。
らくSASコルセットには、中央部をくり抜いた三角柱上のゴムが接着されており、ゴムの底面が背中の丸みに合うように形状を変化することで、刺激を与えずに自然と横向き寝の姿勢で寝返りを打つことを可能としています。既存の療法と異なり、体位が固定されることはないため血流の悪化を防ぐことができます。1人でもSASで苦しむ患者さんの助けになればと思い研究、実証実験を続けました。









数Ⅰで当たりたい！

中学３年生（発表当時）
青木 蓮音 / 曾我部 晃太郎 / 仲 泰輝
浅野 詩歩 / 中川 真衣

数学の授業で「日付」と「出席番号」などから発表をする生徒を指名する先生から、なかなか当ててもらえない。数学の授業で発表したい！そんな思いから「当たりやすい出席番号は？ポイントで可視化しよう！」というテーマで探究活動をおこないました。
チーム全員で、「年間の数学授業実施日」と「その日付」を調査分析し、年間の指名される出席番号の算出をおこないました。最後のまとめとして先生に「公平に当てるための提言」をしました。

Event Calendar

体験型学習・国際人としての資質を養う魅力ある行事の数々




入学式


高校野球全校応援




球技大会


留学生来校(オーストラリア)



4 Apr

- 入学式、始業式
- 新入生オリエンテーション
- 錬成会(高1)
- 第1回学力推移調査(中学)

5 May

- 母校への手紙(新入生)
- 育友会総会(授業参観)
- 球技大会
- 韓国研修プログラム(中4・希)
- 中間考査

6 Jun

- 学園創立記念日
- 音楽鑑賞会

7 Jul

- 留学生来校(アメリカ)
- 高校野球応援
- 学期末考査
- 三者面談
- 夏期講習(中6・希)

8 Aug

- 留学生来校(韓国)
- 終業式　●職業体験(中3)
- 勉強合宿(中1・2・指)
- 東大見学(中3・希)
- 京大見学(中4・希)
- テンプル大学ジャパン英語スキルアップ講座(中4・希)

9 Sep

- 始業式
- 留学生来校(オーストラリア)
- 校内実力テスト(高校)
- 第2回学力推移調査(中学)
- 中間考査

10 Oct

- 文化祭
- 林間・臨海学校(中1・2)
- 研修旅行(中3)
- 修学旅行(中5)
- 教育講演会
- 進学指導会

11 Nov

- 体育大会
- 学年懇談会
- 秋休み
- 修学旅行(S2)
- 卒業記念陶板作成(中6)
- 実力テスト(中学)

12 Dec

- 終業式
- 学期末考査
- 三者面談
- 共通テスト対策(中6)

1 Jan

- 始業式
- 高校卒業式
- 大学入学共通テスト
- 実力テスト(中学)

2 Feb

- アメリカ短期留学(高1・希)
- オーストラリア短期留学(高1・希)
- 私立大学入試
- 国公立大学個別試験
- 大学別2次対策講座(中6・希)

3 Mar

- 中学卒業式
- 修学旅行(陸上競技部)
- 学年末考査
- 三者面談

- 学校見学会(小学生対象)
- 地域別学校説明会
- 学校説明会(本校)
- 地域別学校説明会
- 学校見学会(中学生・小学生対象)
- 入試説明会・入試アドバイス(小学生対象)
- オープンキャンパス(中学生・小学生対象)10～12月で実施
- 入試説明会・入試アドバイス(中学生対象)
- 入学試験(中学)
- 入学試験(高校)

● 行事　● 学業　● 受験生
※ 希…希望者　指…指名者


東大見学


錬成会


音楽鑑賞会


体育大会


アメリカ短期留学


文化祭




研修旅行(中3)


オーストラリア短期留学


林間学校


卒業式



体験型学習　リアルな体験を通して自主性・協調性を養う



中学校では各学年でそれぞれ宿泊を伴う3泊4日程度の校外研修を実施しています。中学1年では奈良県の曽爾高原(国立曽爾青少年自然の家)で林間学校をおこない、登山や野外炊飯などのプログラムに参加します。中学2年では兵庫県の淡路島(国立淡路青少年交流の家)で臨海学校をおこない、カッター研修にチャレンジしたり、伝統文化に触れたりします。いずれも豊かな自然に親しみ、規律ある団体生活を通して、自主性や協調性、リーダーシップを養う貴重な機会です。中学3年は研修旅行として、長崎で平和学習をおこなうとともに、地域の歴史や文化を学びます。



国際人を育てる　グローバルマインドの形成



シンガポール修学旅行(Student Voice)

We went to Singapore and Malaysia on our school trip. In Singapore, students from the National University of Singapore showed us around the city. I noticed many examples of different cultures there—an Islamic mosque, a Chinese temple, and even Japanese subculture elements such as Purikura and anime characters. I was personally happy to see that people there enjoyed Japanese culture. In Malaysia, we visited a local high school. The students there showed us their traditional performances such as dances and songs, which we Japanese students also joined and enjoyed. This experience showed us that, even though we had different traditions, customs, and languages, we could still connect through shared enjoyment and respect. Through these experiences, I learned that respecting different cultures and being proud of our own are equally important; they help us build sincere, meaningful connections. I believe that this lesson will help me and the other students who took part in the trip become active members of this globalized world.

Club Activities

仲間と切磋琢磨し　積み上げる輝かしい日々



野球部

春・夏の甲子園で優勝4回、準優勝5回！

春・夏の甲子園大会出場、優勝をめざし、日々練習に取り組んでいます。学園の模範となる生徒として学園生活にも力を注ぎ、将来のリーダーとしての資質を磨いています。卒業後は、大学野球や、社会人野球・プロ野球で活躍する者もおり、多数のOBが様々なステージで活躍しています。

活動歴

- 選抜高校野球大会甲子園　〈16回出場〉▪優勝 1回 ▪準優勝 4回
- 全国高校野球選手権大会甲子園　〈27回出場〉▪優勝 3回 ▪準優勝 1回
- 国民スポーツ大会（旧 国民体育大会）〈 9回出場 〉▪優勝 1回
- 高等学校硬式野球出場



陸上競技部

2017年創部 全国高等学校駅伝競走大会 男子3回 女子3回 出場！

全国大会出場をめざす陸上競技部。12月開催の「全国高等学校駅伝競走大会」に創部以来男女それぞれ3回ずつ出場し、京都の都大路を駆け抜けています。国公立大学へ進学する者、箱根駅伝をめざして関東の駅伝強豪校へ進学する者もいるなど多様な進路を実現しています。今後も全国高等学校駅伝競走大会、全国高校総体での活躍、また卒業生の活躍に期待が寄せられます。

活動入賞歴

- 男子　第70・71・73回 全国高等学校駅伝競走大会 出場
- 女子　第32・33・34回 全国高等学校駅伝競走大会 出場
- 個人　第79回 国民スポーツ大会 少年男子共通800m 出場











令和7年度より高校運動部始動！！

本校のクラブ活動は、生徒の自主性を何よりも重んじています。
体育部のクラブは中学生のみであったものを、学園生活のさらなる充実のため、令和7年度より高校生で新たに活動を始めました。
中学生の体育部は公式戦の出場、そして勝利を目指し活動しています。
現状、高校生の体育部は公式戦には出場せず、心身の健康増進や仲間作り、技術力向上に励み、生涯に渡り、スポーツに取り組む素養を身につけます。
文化部は中高ともに全国レベルで優秀な成績をおさめるクラブから仲間と一緒に活動を楽しむクラブまで多種多様な活動をしています！

クラブ一覧〈全て中・高〉

- 体育部　サッカー／バレーボール／陸上競技／バスケットボール／テニス／剣道／少林寺拳法
- 文化部　ブラスバンド／美術／演劇／放送／茶道／写真／ESS／生物／書道／ロボット／箏曲／囲碁将棋／合唱／科学／競技かるた／文芸／クイズ研究会／数学研究会



科学部　中学5年生　藤原 悠気 / 是枝 悠矢

科学部では、授業で学んだ内容を実際に実験で確かめられるだけでなく、筆記競技や工作、実験研究など、一人ひとりが自分の「好きなこと」や「やってみたいこと」に取り組むことができます。活動の自由度が高いため、ほかのクラブや学校の勉強とも両立しやすいのも魅力です。僕自身も、この環境のおかげでたくさんの「やりたい」に挑戦することができています。また、科学部では幅広い分野の大会や学会に参加しており、これまでにも科学の甲子園や全国高等学校総合文化祭などの全国大会に先輩方が出場してきました。僕たちもその先輩方に続けるよう、チームの仲間やほかの部員、そして顧問の先生方とともに、日々切磋琢磨しながら楽しく活動しています。

Voice



中学5年生　中田 樹希　バスケットボール部

この学校には、勉強とクラブ活動を両立する環境が整っています。私はバスケットボール部に所属しており、仲間とともに日々活動しています。中学生のときには、チーム一丸となって勝利をめざして活動し、県大会3位に入賞することができました。その経験を通して、仲間と支え合うことや努力を続けることの大切さを学びました。そして高校では勉強に対してより重点をおくために、部活動はメリハリを大切に、リフレッシュや仲間づくりの場として楽しみながら取り組み、充実した学校生活を送っています。勉強だけでなくクラブ活動や学校行事なども全力で取り組みたい人にとって、とても魅力のある学校だと思います。

School Life

快適な環境のもとで育まれる豊かな情操



充実の施設で 確かな成長を…

Topics!

50周年に向けて校舎リノベーション

・体育館の冷暖房完備（令和7年度）
・トイレの改修、美装（令和8年度中に完成）


創立20周年記念図書館
平成10年4月竣工


創立10周年記念建学記念講堂


体育館


マルチビジョンルーム


図書ゾーン


茶華道室

令和7年度よりパン販売開始！

本校ではご家庭からのお弁当を大切にしています。心身共に成長する子供達にとってご家庭のお弁当は、心にも体にも大切な栄養素です。しかし、場合によっては、お弁当を準備できない事情もあります。その際には「注文弁当」の利用も可能です。令和8年度には内容を一新します！ 生徒達にとって食べやすく、手作りで美味しいお弁当です！ また、週4回地元のパン屋さんが「パン販売」を実施してくれています。月・水・金曜日は「ナカタのパン」さん、火曜日は「かたつむり工房」さん（いずれも令和8年6月現在）、生徒達に大人気の補食となっています！




冬服　夏服　合服

A School Day 生徒の一日


~8:30

登 校

7:15から図書館を利用でき、朝早くから登校して自習に励む生徒もいます。


8:30~

読書時間

興味・関心のある分野の書籍を読み、幅広い教養を身に付けます。



読 経

始業前、御真言御宝号をお唱えし、心を静め、決意を新たに1日のスタートをきります。


8:40~

午前授業

日々の授業こそ学校生活の基本です。真剣勝負の時間が流れます。


12:00~

昼休み

愛情たっぷりのお弁当を友達と楽しくいただきます。


12:35~

午後授業

タブレットを活用して探究活動にも取り組んでいます。


~18:00

放課後

クラブ活動や放課後学習の時間です。図書館の自習スペースで、受験勉強や予習復習に取り組む生徒もいます。

校時表［60分授業］

読書	8:30~ 8:40
1限目	8:40~ 9:40
2限目	9:50~10:50
3限目	11:00~12:00
昼食	12:00~12:35
4限目	12:35~13:35
5限目	13:45~14:45
6限目	14:55~15:55

※クラスにより7限目（16:05~17:05）や補習授業がおこなわれます。

2028 50th

感謝の心と堅い絆 そして未来へ

開校50周年に向け 教育リノベーション進行中!



智辯学園和歌山の誕生

智辯学園和歌山中学高等学校は、和歌山県当局の強い要請と藤田照清大僧正の私学教育に懸ける熱意とが醸成し、昭和53年4月に開校しました。設立母体は智辯学園中学校・高等学校であり、「誠実明朗」を教育目標とし、持てる能力の最大開発と、人や物を大切にする心、感謝の心、使命感に燃える人間の育成をめざしています。和歌山県が本学園を招致した所以は、本学園玄関壁の碑文「知事招請の辞」に明記されています。本学園は、設立母体の建学の精神を継承し、さらに大きな前進と発展を使命とします。

スクール・ミッション スクール・ポリシーの制定

開校以来、大切にしてきた建学の精神(スクール・ミッション)を記念事業の一環として、さらなる精査と時流に適した文言で新たに制定を図りました。
※詳細は本校HPをご覧ください。

コース制度の導入

開校以来、培ってきた伝統のカリキュラムに加えて、新たに2つのコースを編制し、個性を活かし、多様性の包摂を目指した学習内容に取り組みます。

詳細 P.3～6

卒業生キャリアデータベース(仮称)

本校同窓会組織(智翔会)との連携強化を図るため、あらたに「卒業生キャリアデータベース(仮称)」を設置予定です。各界で活躍する卒業生と共に協力体制を築き、生徒達の学びを伴走していきます。

校舎リノベーション

交流と体験(community & experience)をコンセプトに「生徒－生徒・生徒－教員・教員－教員の交流と現代の子どもに必要な学びの提供」を図ります。
Society5.0時代にこそ「リアルな体験」が必要とされる現代において、ICT環境をさらに整えていく一方でリアルな体験ができる環境「ものづくり棟(SCIENCE LAB・アトリエ・自然体験)」をリニューアルします。またコンピュータネットワークが整備される世の中でリアルな人間関係である「ヒューマンネットワーク」を築く環境(ラーニングコモンズ・Global room・community zoneなど)を整備します。



SCHOOL HISTORY

昭和53年	1月	第一回入学試験実施(於和歌山大学教育学部校舎)
	4月	第一回入学式(於海南市立体育館) 中学82名、高校146名入学
	11月	校舎第二期工事竣工
昭和54年	5月	体育館竣工
	6月	竣工記念式典
昭和56年	2月	高等学校第一回卒業式
昭和57年	2月	校歌制定(作詞 藤田照清校長 作曲 末吉保雄桐朋大学教授)
昭和59年	2月	6年一貫教育課程第一回卒業式
昭和60年	4月	編入コース設置
昭和62年	4月	国際コース設置
昭和63年	1月	藤田照清第二代 理事長就任、校長兼務
	10月	創立十周年記念 式典並建学記念講堂竣工式
平成元年	11月	野球専用グラウンド竣工
平成4年	4月	新制服制定
	7月	冷暖房設置(全館)
平成6年	4月	第66回選抜高等 学校野球大会 初優勝
平成8年	4月	第68回選抜高等 学校野球大会 準優勝
平成9年	8月	第79回全国高校 野球選手権大会 初優勝
平成10年	4月	創立二十周年記 念式典並記念図書館竣工式
平成12年	4月	藤田清司第二代 校長就任
平成12年	4月	第72回選抜高等学校野球大会 準優勝
	8月	第82回全国高校野球選手権大会 優勝
平成13年	4月	国際コースをINCに名称変更
平成14年	4月	智辯学園和歌山小学校、第一回入学式 80名入学
	8月	第84回全国高校野球選手権大会 準優勝
平成19年	5月	創立三十周年記念体育館改築
平成21年	12月	藤田清司第三代理事長就任、校長兼務
平成30年	4月	第90回選抜高等学校野球大会 準優勝
令和3年	8月	第103回全国高校野球選手権大会 優勝
令和7年	3月	第97回選抜高等学校野球大会 準優勝



智辯学園中学校・高等学校
奈良県五條市野原中4-1-51
Tel.0747-22-3191



智辯学園和歌山小学校
和歌山県和歌山市冬野2066-1
Tel.073-479-1200



智辯学園奈良カレッジ
(小学部・中学部・高等部)
奈良県香芝市田尻265 Tel.0745-79-1111



我が子のように 生徒を愛する教育

生徒を我が子のように思いやり、愛情を持って接する、“愛のある教育”が教育の原点であると考えます。この原点に常に立ち返り、生徒一人ひとりを献身的に支え、“誠実明朗”で心豊かな人間をはぐくむことが本学園の使命です。
四十余年前、和歌山の地に教育の場を開いて以来、こうした強い想いは変わることなく、具体的な成果をあげています。
確かな実績をもとに、今後も教育に取り組み、生徒全員のさらなる能力向上を叶えたいと願っています。

理事長
藤田 清司

可能性を広げる環境

目標に向かって、日々地道な努力を続けている生徒の姿は美しいものです。そして、そのようにして得られた結果は、たとえ華々しいものでなくても、正当に評価してあげたいと考えます。
本校では、学業はもちろん、部活動やその他の活動においても、生徒、保護者、教職員が一体となって、努力する者が輝ける環境作りを心がけています。
豊かな環境の中で、子どもたちは大きく成長していきます。智辯和歌山という最適な環境のもと、私たちとともに、自らの可能性を広げてみませんか。



中学高等学校長
児島 伸介